



**おすすめの本**

**8**  
 がつこう  
**月号**

<小学1・2年>

<小学3・4年>



『がっこうにまにあわない』

ザ・キャビンカンパニー作・絵  
 あかね書房

7時47分。寝坊した男の子が玄関を飛び出し、ゴウゴウと走っていく。行く手には大きなみずたまり、散歩中の犬たち、ぐにゃぐにゃの歩道橋！はたして、学校に間に合うのか？



『ホホジロザメ』

沼口 麻子文, 関 俊一絵  
 福音館書店

大きさは最大6メートル超。世界中のほぼすべての海にすんでいるホホジロザメ。普段はおとなしく、ゆっくり泳いでいるが、狩りのときはスピードを上げて獲物を追いつめ…。

<小学5・6年>

<全学年>



『金曜日のヤマアラシ』

藤内 明子著, 中田 いくみ装画  
 アリス館

うちのクラスにやってきた、日に焼けて、手足の長い転校生。「うるせーな」ってにらんでくるし、「さよなら」って声をかけても無視する。あのトゲトゲは、まるで長いトゲのヤマアラシだ！



『江戸日本ねこづくし』

吉田 愛作, エミリー・バリストレーリ訳  
 講談社

若水 迎、おかげ参り、堂島米市…。2000匹を超えるねこと江戸時代を旅して、さがしものやおたずねものを見つけよう！江戸時代の伝統や文化が学べる、さがしもの絵本。

<小学1・2年>



『ようかいびより』

堀切 リエ作, いしい つとむ絵  
 あかね書房

テルテルボウズをふりまわしながら帰っていたら、知らない町角に立っていた。次々と現れる妖怪たちにとりかこまれて大ピンチに…。



『庭にくるとり』

石川 えりこ作・絵  
 ポプラ社

おじいちゃんは庭に鳥のエサ台を作った。はじめは「そんなに簡単に鳥が来るもんか」と言うが…。祖父と孫の心が近づくようすを描く。



『こわいものなしの六人』

グリム原作, 竹下 文子文, こぼ ようこ絵  
 あかね書房

勇敢な兵隊は、力持ち、獵師、鼻息男、早足、ぼうしおとこ、なまこ、あしはや、ひめさま、きょうそう、帽子男を仲間、足の速いお姫様と競争することに。しかし、王様の悪だくみに気づき…。

<小学3・4年>



『戦争が町にやってくる』

ロンナ・ロマーニオン作, アンダー・レシウ作, 金原 瑞人訳  
 ブロンズ新社

美しい町・ロンドで、人々は花を育て、鳥や草木に話しかけながら、楽しく暮らしていました。ところが、突然「戦争」がやってきて…。



『黄色い竜』

村上 康成作・絵  
 徳間書店

10歳のクリオは、祖父が昔つりにがしたという、湖のまぼろしのコイをつろうとする。自然の中で生きる少年のひと夏を描きだす物語。



『生まれかわりのポオ』

森 絵都作, カシワイ絵  
 金の星社

ネコのポオとぼくとママは、いつも一緒。ぼくが9才の時、ポオが亡くなった。泣き続けるぼくに、ママは物語を作ってくれて…。

<小学5・6年>



『家守神 1 妖しいやつらがひそむ家』

おおぎやなぎ ちか作, トミイ マサコ絵  
 フレーベル館

拓が住むことになった古い家には、幽霊でも妖怪でもない「なにか」がいる。「家守神」と少年・拓が繰り広げるエンタメシリーズ。



『クマのプーさんのむかしむかし』

ジェーン・リオーダン文, マーク・バーゼス絵, 尾崎 愛子訳  
 文化学園文化出版局

デパートの棚に並んでいたクマは、なんでも欲しいが、娘の子に連れて行かれて…。原作「クマのプーさん」の公式に認められた過去編。



『森のささやきの標本室』

たなか 鮎子著  
 エイアンドエフ

音の消えた森で迷子になった弟。ことはをさがすため、リリとこだまは霧に包まれた森へ入ります。古めかしい霧の精の家にたどり着き…。